

平成23年度 群馬県立産業技術センターの利用に関する  
アンケート調査 結果報告書

平成24年11月

群馬県立産業技術センター

## 1 調査概要

### (1) 目的

群馬県立産業技術センター（群馬産業技術センター及び東毛産業技術センター。以下、「産業技術センター」という。）のより一層の利便性の向上を図るため、利用企業に対してアンケート調査を実施した。

### (2) 調査対象

平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）に産業技術センターの技術支援（依頼試験、機器開放、技術相談）を利用した企業。

### (3) 調査方法

「調査票」をFAX（一部企業は郵送）により送付し、FAXにより回答してもらう。

### (4) 調査実施数

調査依頼数、回答数及び回答率は、次のとおりであった。

技術支援項目	調査依頼数	回答数	回答率
・ 依頼試験 ・ 機器開放 ・ 技術相談	2,951社	691社	23.4%

### (5) 結果概要

アンケート調査の結果、平成23年度の利用企業のうち目的を達成できた企業の割合は、「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると77.6%、「手がかりがつかめた」を加えると97.6%であり、ほぼ全ての利用企業にメリットがあったと考えられる。

利用企業が得られた経済効果は、1企業あたり約277万円、全体では約81億7,812万円であった。

また、今後も産業技術センターを利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要のあるときに利用したい」を合わせると99.6%であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えていた。

## 2 調査結果

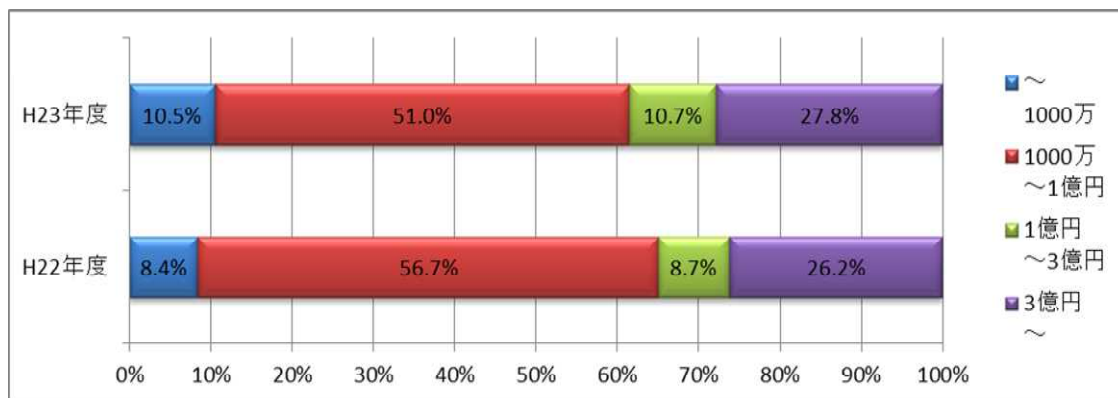
### (1) 利用企業の資本金・従業員数等について

- ・ 利用企業の資本金は「3億円未満」が72.2%、従業員数は「300人未満」が70.1%であり、中小企業の割合が高かった。
- ・ 産業技術センターの利用は、「ほぼ毎年利用している」と「前に利用したことがある」を合わせると71.1%であり、リピーターの割合が高かった。

内訳は、次のとおりであった。

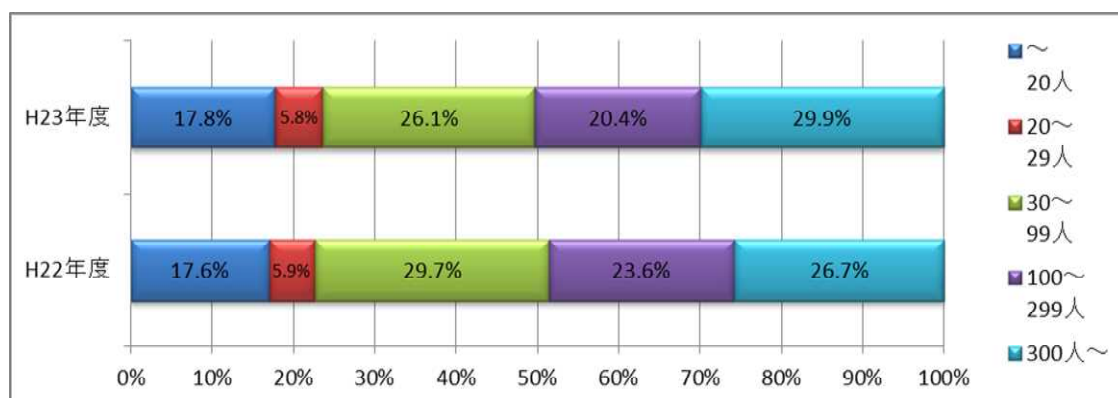
#### ① 資本金について

- |              |       |                  |       |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 1. 1,000万円未満 | 10.5% | 2. 1,000万円～1億円未満 | 51.0% |
| 3. 1億円～3億円未満 | 10.7% | 4. 3億円以上         | 27.8% |



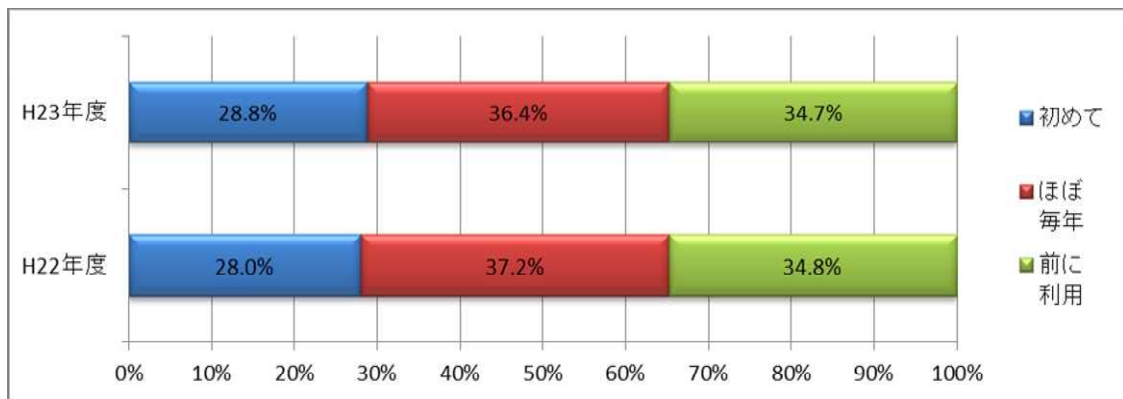
#### ② 従業員数について

- |             |       |           |       |
|-------------|-------|-----------|-------|
| 1. 20人未満    | 17.8% | 2. 20～29人 | 5.8%  |
| 4. 100～299人 | 20.4% | 5. 300人以上 | 29.9% |
| 3. 30～99人   | 26.1% |           |       |



#### ③ 産業技術センターの利用について

- |                |       |           |       |
|----------------|-------|-----------|-------|
| 1. 平成23年度が初めて  | 28.8% | 2. ほぼ毎年利用 | 36.4% |
| 3. 前に利用したことがある | 34.7% |           |       |



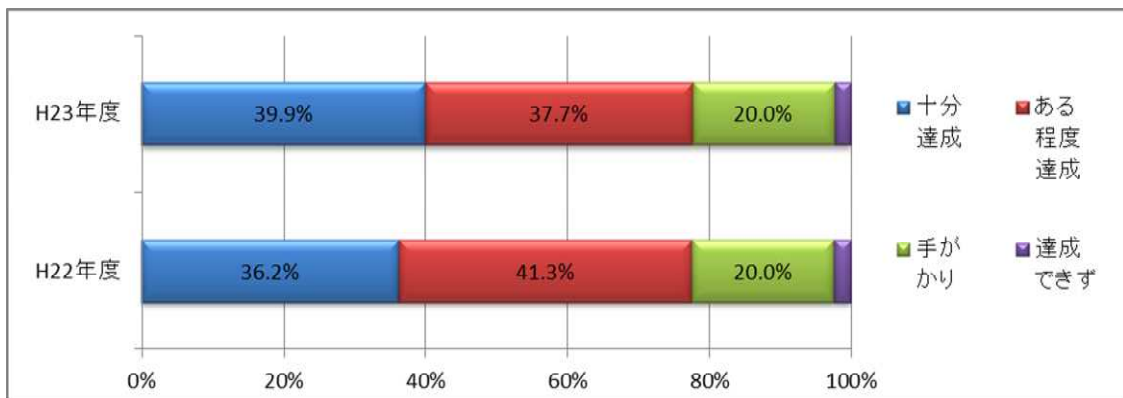
## (2) 利用企業の目的達成度について

- ・ 目的を達成できた企業の割合は「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると77.6%、「手がかりがつかめた」を加えると97.6%であり、ほぼ全ての利用企業にメリットがあった。
- ・ 利用企業が得られた経済効果は、1企業あたり約277万円、全体では約81億7,812万円であった。

内訳は、次のとおりであった。

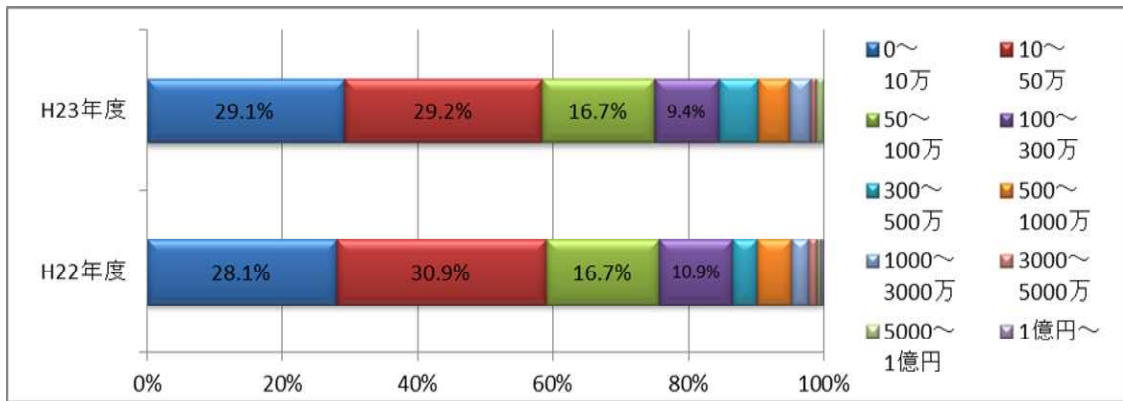
### ① 目的達成度について

- |              |       |              |       |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 1. 十分達成できた   | 39.9% | 2. ある程度達成できた | 37.7% |
| 3. 手がかりがつかめた | 20.0% | 4. 達成できなかった  | 2.4%  |



### ② 利用企業が得られた経済効果について

- |                    |       |                    |       |
|--------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 0～10万円未満        | 29.1% | 2. 10～50万円未満       | 29.2% |
| 3. 50～100万円未満      | 16.7% | 4. 100～300万円未満     | 9.4%  |
| 5. 300～500万円未満     | 5.8%  | 6. 500～1000万円未満    | 4.7%  |
| 7. 1,000～3,000万円未満 | 3.1%  | 8. 3,000～5,000万円未満 | 0.8%  |
| 9. 5,000万円～1億円未満   | 1.1%  | 10. 1億円以上          | 0.0%  |



利用企業が得られた経済効果について636社から回答があり、1企業あたりの経済効果は約277万円であった。今回のアンケート調査を依頼した2,951社を乗じて換算すると、全体の経済効果は「約81億7,812万円」であった。

また、平成23年度の産業技術センターの歳出決算額が、9億9,142万円であることから、「約8.2倍」の経済効果があったといえる。

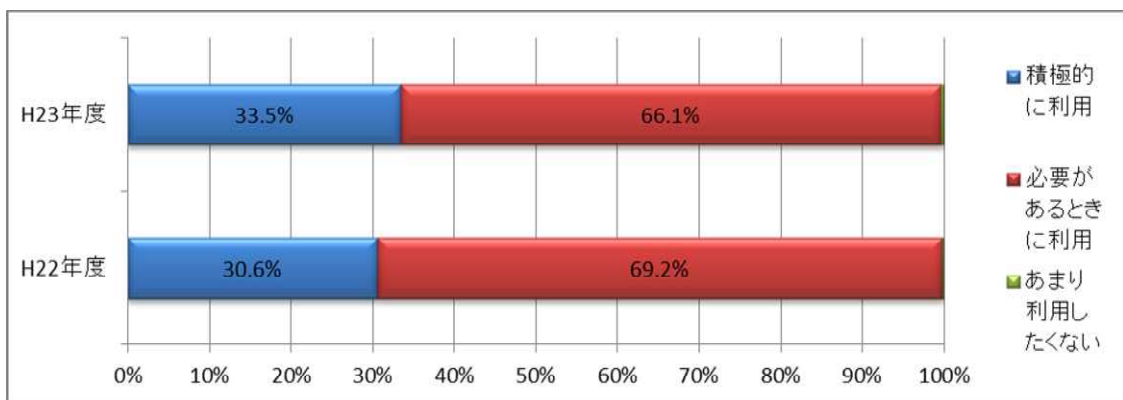
- ③ 未達成の理由については、「測定対象を測定できる機器がなかった」、「機械が使用中だった」、「都合により開発を断念した」などの回答があった。

### (3) 今後の産業技術センターの利用について

・ 今後も利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要のあるときに利用したい」を合わせると99.6%であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えていた。

内訳は次のとおりであった。

1. 積極的に利用したい 33.5%、2. 必要のあるときに利用したい 66.1%、  
3. あまり利用したくない 0.4%、4. 利用したくない 0.0%



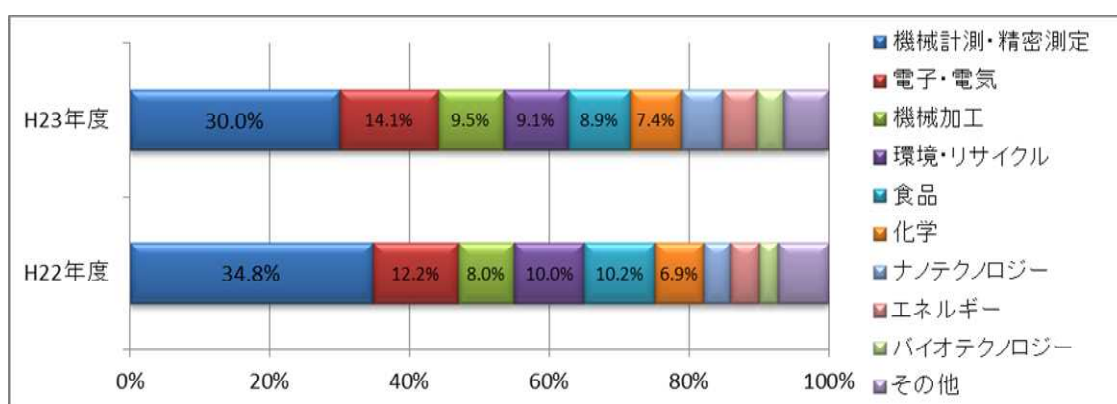
あまり利用したくない理由については、「費用が高い」、「ニーズに対応できないと思う」などの回答があった。

(4) 今後、産業技術センターに強化、充実してほしい技術分野について

- ・ 要望の多い技術分野は、「機械計測・精密測定」、「電子・電気」、「機械加工」、「環境・リサイクル」、「食品」の順であった。

内訳は次のとおりであった。

1. 機械計測・精密測定	30.0%	2. 電子・電気	14.1%
3. 機械加工	9.5%	4. 環境・リサイクル	9.1%
5. 食品	8.9%	6. 化学	7.4%
7. ナノテクノロジー	5.8%	8. エネルギー	5.0%
9. バイオテクノロジー	3.8%	10. その他	6.4%



強化、充実してほしい具体的な内容については、次のとおりであった。

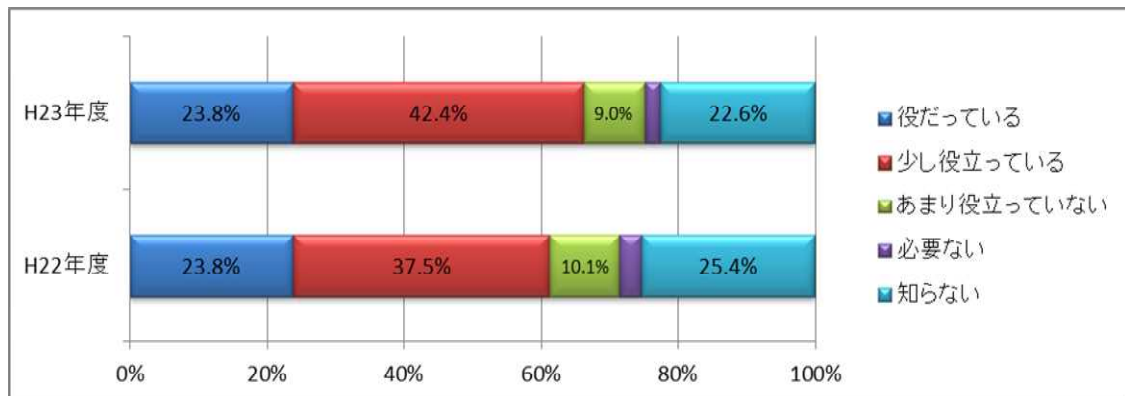
- ・ 機械計測・精密測定では、「各種測定試験」、「大型計測器の導入」、「モーター関連部品の測定」、「真空技術に関連する測定」、「X線検査装置の大型化」など。
- ・ 電子・電気では、「電磁波測定」、「電波暗室」、「電気通信」、「マイコン制御」など。
- ・ 機械加工では、「ロボット技術」、「マシニングセンターの導入」、「切削物のプレス化」、「金属加工技術」、「引張試験」など。
- ・ 環境・リサイクルでは、「環境付加物質調査」、「リサイクル技術」、「製品の長寿命化」など。
- ・ 食品では、「放射線測定」、「異物検査」、「栄養分析」、「フリーズドライ技術」など。
- ・ 化学では、「成分分析」、「材料特性」、「金組織分析」、「熱分析」、「複合材料」など。
- ・ ナノテクノロジーでは、「粒子分散」、「薄膜」、「非破壊測定」など。
- ・ エネルギーでは、「パワーエレクトロニックエネルギー」、「熱エネルギー」、「燃料電池」、「水素エネルギー」など。
- ・ バイオテクノロジーでは、「紫外線劣化試験」など。
- ・ その他では、「IT関係（プログラミング、ネットワークなど）」、「自動車産業」、「自然素材」、「海外安全規格」、「光造形」などの回答があった。

#### (5) ホームページの利用について

- ・ 「役立っている」と「少し役立っている」を合わせると66.2%であり、役立っていると感じる割合が高かった。
- ・ 反対に「あまり役立っていない」と「必要ない」を合わせると11.2%であった。
- ・ 「知らない」が22.6%と一定の割合があったことから、今後も継続的にPRしていく必要がある。

内訳は次のとおりであった。

- |               |       |             |       |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 1. 役立っている     | 23.8% | 2. 少し役立っている | 42.4% |
| 3. あまり役立っていない | 9.0%  | 4. 必要ない     | 2.2%  |
| 5. 知らない       | 22.6% |             |       |

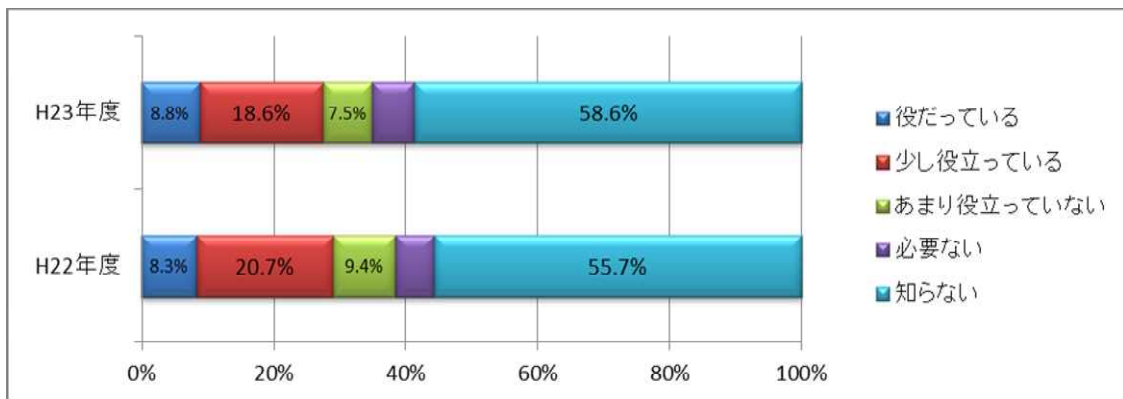


#### (6) メールマガジン（まる得通信）の利用について

- ・ 「役立っている」と「少し役立っている」を合わせると27.4%であり、反対に「あまり役立っていない」と「必要ない」を合わせると14.0%であった。
- ・ 「知らない」が58.6%と過半数を超えていたことから、今後も積極的にPRしていく必要がある。

内訳は次のとおりであった。

- |               |       |             |       |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 1. 役立っている     | 8.8%  | 2. 少し役立っている | 18.6% |
| 3. あまり役立っていない | 7.5%  | 4. 必要ない     | 6.5%  |
| 5. 知らない       | 58.6% |             |       |



### (7) カイゼンテーマについて

- ・ 「手続きに関するもの」、「機器・試験項目、セミナー等に関するもの」、「利用料に関するもの」、「納期（時間）に関するもの」の順に、多くのカイゼンテーマ（意見・要望等）をいただいた。
- ・ 産業技術センターとしては、寄せていただいたテーマを基に、より一層の業務改善に取り組んでいく必要がある。

全体で55件のテーマがあり、主なものは次のとおりであった。

- ・ 手続きに関するもの（17件）  
（銀行振込みによる利用料の支払い、ネットでの予約・空き状況の確認 など）
- ・ 機器・試験項目、セミナー等に関するもの（9件）  
（IT研修の充実、設備機器の充実 など）
- ・ 利用料（試験手数料・機器使用料）に関するもの（6件）  
（料金の値下げ要望 など）
- ・ 納期（時間）に関するもの（5件）  
（短納期への要望 など）
- ・ その他のもの（19件）  
（産学官連携、職員対応の改善、公募型研究予算の増額 など）

### (8) その他、産業技術センターに対する意見・要望等について

- ・ 最も多かったのは、「職員等への感謝・激励の言葉」であった。
- ・ 以下、「機器・試験項目、セミナー等に関するもの」、「利用料に関するもの」、「手続きに関するもの」、「試験結果に関するもの」の順に、多くの意見・要望等をいただいた。
- ・ 産業技術センターとしては、寄せていただいた貴重な意見・要望等を踏まえ、より一層の利便性向上を目指していく必要がある。

全体で188件の意見・要望等があり、主なものは次のとおりであった。

- ・ 職員等への感謝・激励の言葉（87件）



- ・ 機器・試験項目、セミナー等に関するもの（２６件）  
（計測講習会、IT研修、微生物検査、放射線量測定機器、多層基板プレス機、色差計、フローサイトメーター、グロスメーター等の導入要望 など）
- ・ 利用料（試験手数料・機器使用料）に関するもの（１８件）  
（料金の値下げ要望、県外料金の廃止要望、業界団体の割引要望 など）
- ・ 手続きに関するもの（１０件）  
（証紙支払いの廃止要望、銀行振込みによる利用料の支払い、ネットでの予約・空き状況の確認 など）
- ・ 試験結果に関するもの（８件）  
（結果通知書への詳細な分析の記載要望、試験結果に対するアドバイスの要望 など）
- ・ 納期（時間）に関するもの（４件）  
（早急な対応への感謝、短納期への要望 など）
- ・ その他のもの（３５件）  
（情報提供、ホームページの充実、教育・人材育成の要望 など）